



TEAM FUKUOKA NEWS 2022



福岡県選手団サポートニュース R4.1.25 Vol.1

第77回国体冬季大会が栃木県でついに開幕！！

日光市で7日間の熱戦がスタート！！

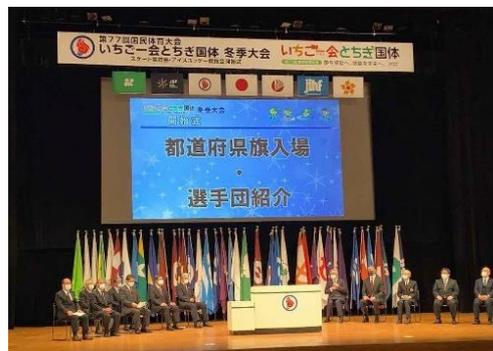
令和4年1月24日（月）、栃木県日光市の今市文化会館で開始式が実施された。感染症対策により入場行進等は中止となったが、室伏スポーツ庁長官の挨拶には、今大会の開催に尽力した関係者や参加する選手に対する深い感謝の気持ちが込められていた。

今回の冬季大会では、感染症対策として監督・選手など大会に参加される方へのPCR検査の義務付け等、万全な対策が講じられており、安心して試合に臨める環境である。福岡県選手団には、「男女総合成績常時8位以内入賞」に向け、持てる力を存分に発揮してもらいたい。

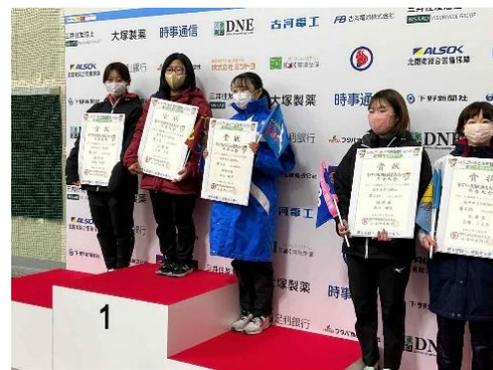
ショートトラック（1日目）4名入賞！！

大会初日、今市青少年スポーツセンターでショートトラックの1日目が行われ、成年女子1000mに出場した高橋花菜選手（中京大学）が2位、黒川輝衣選手（株ヨコハマタイヤ）が4位となった。また、少年男子1000mで、播磨亮汰選手（志免東中学校）が6位、そして、少年女子1000mで、権丈若葉選手（新宮高校）が5位に入賞するなど、福岡県勢にとって幸先の良いスタートを切ることができた。なお、福岡県トップアスリート育成強化事業強化指定選手であった高橋選手と現強化指定選手の権丈選手、また、黒川選手は福岡県タレント発掘事業修了生であり、本県の競技力向上事業の成果が実を結んだ結果となった。

成年女子3000mリレーでは、準決勝へ勝ち進み愛知県との激しいトップ争いの末、2位となり決勝に駒を進めた。同じく、成年男子3000mリレーも準決勝では、最後まで粘り強いレースを展開するも2位となり決勝へ望みをつないだ。福岡県選手団にとっては非常に良い流れであり、明日の決勝レースでは十分に上位入賞を狙える。



開始式



【左端】高橋選手 【右から2番目】黒川選手

フィギュア種目少年種別 明日のFSに向けて好位置をキープ

青森県で開催された冬季インターハイから、そのまま栃木県に入るという過酷な日程の選手もいたが、一切疲れを感じさせず1日目のショートプログラム(SP)で華麗な演技を披露した。

【ショートプログラムの順位・フリースケーティングに向けた意気込み】

- ・江川 マリア 選手（香椎高校）＜SP：2位＞※福岡県トップアスリート育成強化事業強化指定選手
「いつもの練習通りに演技をしたい。」
- ・鴨井 彬莉彩 選手（東筑紫学園高校）＜SP：13位＞
※福岡県トップアスリート育成強化事業強化指定選手
「一つ一つ丁寧に滑り、ノーミスで演技したい。」
- ・松岡 隼矢 選手（沖学園高校）＜SP：5位＞
「自分を信じて、練習でやってきたことを本番でもやっていきたい。」
- ・垂水 爽空 選手（角川ドワンゴ学園N高校）＜SP：7位＞
「今回のショートとフリーでは曲調が違ってくるので、明日は明日で今日と違った世界観を自分なりに表現していきたい。」



【左から】鴨井選手、江川選手、松岡選手、垂水選手

国体豆知識

【国体におけるフィギュア競技の順位決定について】

フィギュアスケートは、成年・少年男女それぞれ2名がエントリー。まずは、全競技者がSP（ショートプログラム）を行い、2名の合計点数上位12都道府県の選手により、FS（フリースケーティング）が行われる。最終的に、各都道府県2名の合計点で各種別の順位が確定する。

会場地	式典・競技	1月							会場
		24日 (月)	25日 (火)	26日 (水)	27日 (木)	28日 (金)	29日 (土)	30日 (日)	
日光市	開始式	◎							日光市 今市文化会館
	表彰式					スケート ◎		アイスホッケー ◎	観光ホテル 日光千姫物語
	ショートトラック	○	○						今市青少年 スポーツセンター 屋内スケートリンク
	フィギュア	○	○	○	○				栃木県立 日光霧降アイスアリーナ
	アイスホッケー			○	○	○	○	○	栃木県立 日光霧降アイスアリーナ 他